

地產地消

長野工業高等学校

情報工学科

田中翔大

田中湊也

テーマの理由

テーマとSDGsの関係

目標11 住み続けられる街づくりを

目標12 つくる責任使う責任

地産地消は、地域とどのようにして繋がっているのか気になったから



現状

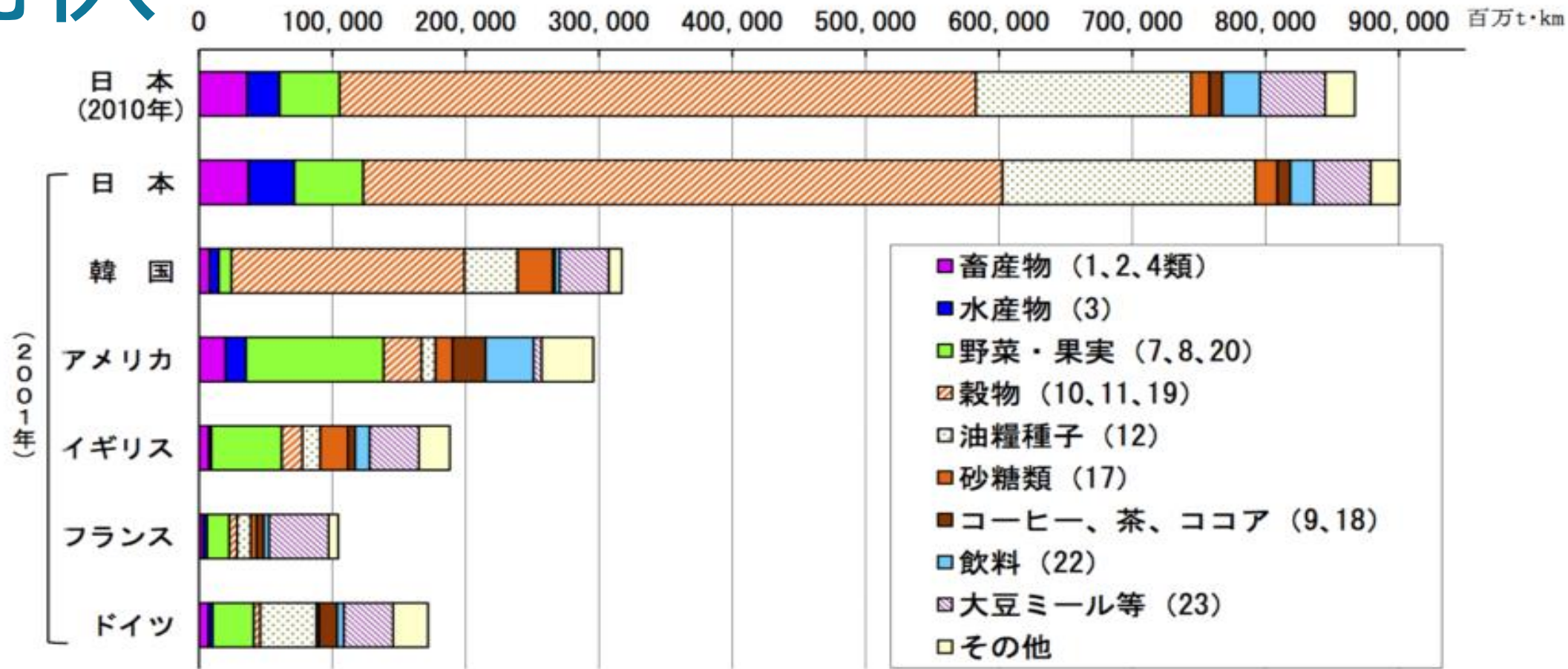


図1-1 輸入食料のフード・マイレージ（品目別）

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」 (<http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/fmtop.index.html>)

注：フード・マイレージとは、食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標である。

問題点

- 地産地消は必ずしも大量流通に適したシステムとなっていないので、コストアップ要因になりうる。
- 「地産地消ならどんな地場産品でも売れる」といった安易な考え方に陥る危険がある。
- そもそも、厳密に地場の農産物のみによってすべての品揃えを賄おうとするのは困難。
(地産地消が農産物流通の大宗を占めることにはならない)

今後の課題

- 一定量の安定的生産
- 取扱品目数の増加。
- 消費者がアクセスしやすい場所での販売。
- 関係省庁との連携の強化。
- 農林水産省や地域自治体などによる地産地消の意義を普及する活動のさらなる徹底。

SDGs実現に向けて～10代からの提言～

小中学校などで映像や画像などを使って地産地消の現状や課題などを次の世代を担う子供たちに伝えていく事が大切だと思う。



出典；会津若松市地産地消推進プラン

感想

普段の生活から地産地消のことを意識しながら生活していきたいと思った。

一人一人がちょっとした意識をもって生活していけば日本の未来がより良いものになっていくんだなと思った。